

### March 9<sup>th</sup>

ローマリンダ大学の薬学スクールを見学しました。ローマリンダ大学があるローマリンダ市は飲酒、喫煙に厳しく、スポーツを推奨し健康に気づかうコミュニティーが形成されており、全米の平均よりも元気な高齢者の割合が高いところです。ローマリンダ大学は薬学部その他、医学部、看護学部、歯学部などを有し、医療を専門とした大学です。特に歯学部は全米1位の教育水準とされています。午後の研修では病院薬剤部の Dr. Hamada から講義を受け、薬剤部を見学させていただきました。以下に5年生小暮さんのレポートを紹介します。

### Site Visit : Loma Linda University, school of pharmacy

ローマリンダ大学の薬学スクールは2002年より開始され、基礎課程を修了した学生を対象に4年間の薬学専門プログラムを行っています。今日は30年以上に渡る薬剤師経験がある Dr. Hamada から病院薬剤師の役割、大学で行われている薬学教育プログラムの内容や大学施設の紹介をしていただきました。

病院薬剤師の役割には、薬のオーダーリング、患者の状態に応じた投与量の設定、TDM、相互作用のチェックなどがあり、薬を調剤するだけでなく薬の専門家としての医薬品知識はもちろん、薬の効果を最大限活かすことができるような薬の管理をすべて行っています。米国と比較すると、日本の病院薬剤師はベッドサイドに行き、患者に直接服薬指導や副作用モニタリングするなど、より患者との距離が身近にあると感じました。

教育プログラムの特徴は、他のカリフォルニア州に設立されている薬学スクールと比べると医薬品治療に関する科目が多く、より専門性に特化していること、4年次には実務実習として薬局、病院、ドラッグストアなどの医療施設を1年間でローテーションしながら実践的な臨床スキルを身につけることができること、主に薬剤師免許取得後1~2年目の薬剤師を対象にレジデンシープログラムを設け、薬剤師としてより質の高い医療を患者へ提供するために専門的な知識だけでなく他職種のスタッフと意見を交わして臨床的マインドを養うことが挙げられます。レジデンシープログラムに関しては、日本にもありますが、アメリカほど教育的な面が少ないように感じます。質の高い医療を提供するためには実践的な教育を受け、専門的な知識はもちろん医療チームとして他職種と関わる必要があると感じました。

大学の施設紹介では、病院内の無菌室、医薬品情報室、自動計数調剤機、医薬品の保管所を見学させていただきました。無菌室では薬剤師が経腸栄養剤などを調製しテクニシャン2人で管理していることや、医薬品情報室では薬剤師を24時間体制で常駐させることで薬剤師が医薬品をすべて管理していること、オーダーリングシステムや自動計数調剤機を用いて調剤ミスをなくす工夫などが行われており、日本と比べると薬剤師の業務に対して専門性及び責任の重要性が求められていると感じました。

## UCR-JIU Pharmacy Internship Program 2016

---

最後に Dr. Hamada より「学生のうちに将来のビジョンを決めて、目標をもつこと」が今後の方向性を決めるための行動の源であるとアドバイスをいただきました。今後も様々な事に挑戦し、自ら行動することを大切にしていきたいです。(5年生 小暮)



Dr. Hamada による講義



ローマリンド大学 医薬品保管所を見学



Dr. Hamada に質問中



ローマリンド大学 薬剤管理室を見学